

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

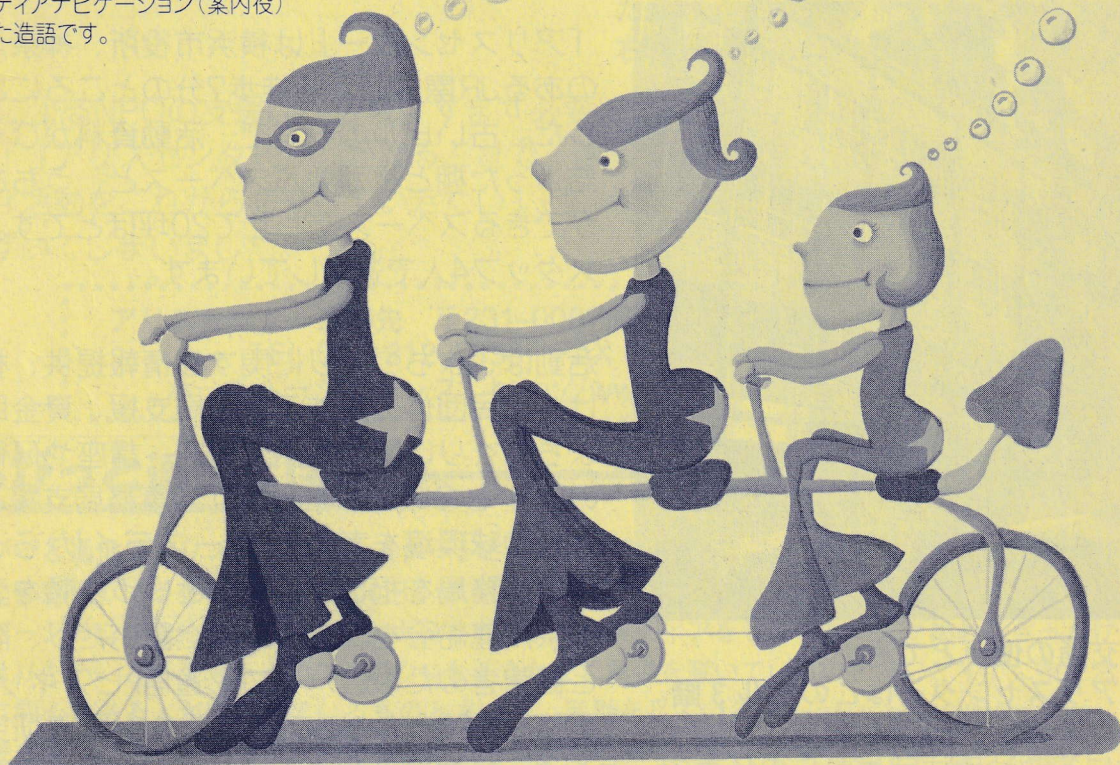
10月号

無料

● 月25日発行(第26号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。



今月の表紙は、「イラストレーターになるための勉強中」という石狩市の依田早苗さん(22歳)の作品です。依田さんはきのこを見るのも、食べるのも、きのこグッズを集めるのも好きで、イラストにもつい描いてしまうと。可愛らしい作品をありがとうございました。

「NPOのためのNPO」の老舗

特集 アリスセンター訪問!

「不登校」を考えよう⑥ ～地域の私たちができること～

特集

「NPOのためのNPO」の老舗

アリスセンター訪問!

横浜市に、まちづくりを支援するNPO（非営利活動法人）「アリスセンター まちづくり情報センター神奈川」があります。10年以上前から、地域のさまざまなボランティア団体の相談にのったり、そうした地域情報を載せた「らびっと通信」を発行したりしています。「NPOのためのNPO」が増えているなか、その老舗ともいえるアリスセンター取材してきました。



交通の便がとてもいい。
アリスセンターはこのビル3階。

「アリスセンター」は横浜市役所、神奈川県庁のあるJR関内駅から徒歩7分のところにありました。古いビルの一室で、活動資料がびっしり詰まった棚と机が並ぶスペースと、うちあわせができるスペースあわせて20坪ほどです。常勤スタッフ4人で運営しています。

活動は、まちづくりに関する情報提供、相談受け、市民団体に対する事務局支援、資金助成、まちづくりに関する調査研究、講座や研修などの開催と多岐にわたります。事務局支援としては、地球環境を考える「アースデイ」から、神奈川の事務局を担ってほしいという依頼を受けて神奈川連絡会をセンター内に置いたり、障害者と健常者のためのパソコン通信「ピアネット」の事務局を担ったりしてきました。調査研究は、

主に行政や助成団体からの仕事で、センターに豊富に集まる情報を元に、市民社会のシステムやまちづくりの手法などについて提案を行っています。

「アリスセンター」は1988年に神奈川県内の市民活動の情報拠点として作られました。当時、神奈川県には、環境問題や平和運動などさまざまな分野で市民団体が活発に活動していましたが、お互いの連携は密接ではなかったそうです。そんな時にあった「団体が相互に交流し、情報がいきかい、その中から複雑に入りくんだまちづくりの問題を解決するプログラムが模索できないか」という声がきっかけになりました

た。設立した頃に関いたシンポジウムのタイトルは「オバタリアンに政治ができるか」「リサイクルって本当に役立つのか」。タイトルを見るだけで、その時代、何に地域の人々は関心を持ち学びたがっていたかが分かるようです。

いまはそうした、地域や他のNPOのための活動に加え、アリスセンター自身の実態把握に関するアンケート実施やホームページのリニューアルを進めています。また、センターをNPO法人化し、事務局と理事会がよい緊張関係をもてる体制にしました。「地域のお助けマン」という優しい顔を携え、一方、21世紀に向け、より信頼される組織でありたいという理念の高さがうかがえます。



たくさんの資料が歴史を感じさせる。
右は綿引さん。

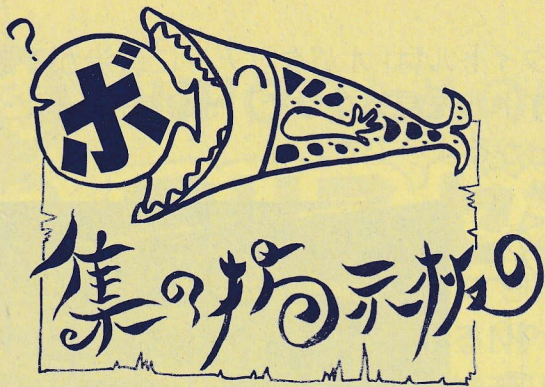
NPOによるNPOの支援は、今後ますます必要になるでしょう。スタッフ綿引幸代さんの「『アリスセンターがかかわることで、課題が一步前進した』と言ってもらえるような活動をこれからも続けていきたい」という言葉にボラナビスタッフも深く深くうなずいてしまいました。

アリスセンター連絡先 〒231-0007横浜市中区弁天通2-26-3階
TEL 045-212-5835 FAX 045-212-5826
ホームページアドレス <http://www.jca.apc.org/alice>

らびっと通信とは

らびっと通信はアリスセンターのスタートと同時に創刊されました。月2回の発行で、会員400人に郵送している有料誌（一部200円）です。中は、NPOに関する特集と、県内のイベント情報のページの二つに分かれています。ボラナビが、ボランティアをしていない人が始めるきっかけになりたい、とボランティアニーズのつなぎ合わせに重点を置いているのと違い、すでに市民活動に関心のある人が購読しているものとあって、活動をしている人に役立つ「特集」ページのほうに力を入れているように感じます。現在267号の特集は、チャリティショップが多いイギリスの視察報告、「NPO法人と企業の関わり方」の論文、神奈川のごみ問題を考える交流集会の報告など盛りだくさんです。残念ながら、らびっと通信は採算面や作業量が負担になっているため今年の12月で終わりますが、その後はインターネットを使った情報発信と、らびっと通信より厚みを増して年4回発行する「たーとる通信」（ウサギからカメになって、ゆっくりじっくりという意味をこめているそうです）に生まれ変わります。そちらも楽しみです。





ここに掲載されている各情報、日時、場所などが変更になることがありますので、事前に各連絡先まで確認してください。

イラスト：タケダミヲ

常時

日常生活のお手伝い

●**内容**：内城百合（ないじょうゆり）さん（44才）は、脳性まひという障害で車椅子を使用して一人暮らしをしています。普段、日常生活のお手伝いをボランティアさんをお願いしているのですが、朝の8:00～9:00くらいの時間に片付けやごみ出しをしてくださる方（女性）を探しています。年齢や経験は問いません。難しいことはありませんので、よろしくお願いします。なお、交通費はお支払いいたしますが、万が一の事故に備えてボランティア保険に加入していただきます（年間300円）。

●**時間**：火～金曜日 8:00～9:00

●**場所**：中央区宮の森4条5丁目（地下鉄西28丁目駅から徒歩15分）

●**連絡先**：TEL 070-5282-5161（溝口） 070-5065-9470（片桐）

☆**スタッフよりひとこと**：内城さんは、明るくてちょっと天然ボケ(?)な楽しい人なので、きっと誰でもすぐにお友達になれると思います。

10月のボラナビの集いのゲストスピーカーです。

常時

テニス・バトミントン指導のボランティア ボ集

●**内容**：YMCAは、社会や地域住民の中で問題になっている様々な事柄に目をむけ活動をしている非営利団体です。今回、成人スポーツ活動の中で行なわれている、テニスとバトミントンのクラブ活動のボランティアリーダーをボ集することになりました。スポーツクラブ会員の方々とテニス・バトミントンを楽しみ、技術指導をしてくださる方、是非ご連絡ください。

●**日時**：＜バトミントン＞ 毎週月曜日 20:00～21:30

＜硬式テニス＞ 毎週火曜日 10:30～12:00

●**場所**：中央区南11条西11丁目 北海道YMCA ウエルネスセンター（市営バス南11条西11丁目下車すぐ、地下鉄中島公園駅より徒歩15分）

●**問い合わせ・申し込み先**：北海道YMCA ウエルネスセンター TEL011-561-5217 FAX 011-563-0041（藤岡・菅原）

E-Mail：fujiooka@kitala.ne.jp なお、ホームページも開いていますのでご覧ください。

<http://www.ymcajapan.org/hokkaido/>

常時**音楽教室ボランティア 募集**

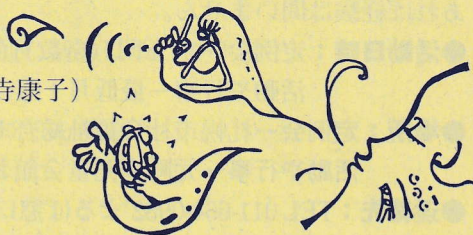
●**内容**：はじめまして、小野寺康子と申します。私は北区で音楽教室を開いています。このたび障害を持った子供達を対象とした音楽療養リズムコース「ほっぺんルーム」を始めることになりました。それにあたって、いろいろな事をサポートしてくださるボランティアさんを募集しております。強制しない自由な発想で、一人一人の個性を大切に進めていきたいと思っていますので、ご協力いただける方、是非ご連絡ください。また、障害を持ったお子様のご父兄の皆さんからも、音楽に対するご希望・ご意見もお寄せいただけると嬉しいです。

●**日時**：火か金曜日のどちらか1日、時間は応相談

●**場所**：北区北6条西8丁目 パセオ近く

●**連絡先**：TEL 090-3774-5318 FAX 011-772-9262（小野寺康子）

E-Mail：yan-u@mbb.spacetown.ne.jp

**常時****犬の散歩 手伝ってください**

●**内容**：犬の散歩をしてくださる方を募集しています。大きな犬ですが大人しいので、犬好きの方なら大丈夫。また、時々毛づくろいもしていただけると嬉しいです。ご連絡お待ちしております。

●**日時**：毎日1時間程度（1日1～2回）

●**場所**：白石区北郷3条13丁目 1-32 富樫ビル 101

●**問い合わせ**：札幌市在宅福祉サービス協会 白石・厚別相談センター

TEL 011-801-3294 FAX 011-801-3513

常時**新聞を読むお手伝いします**

●**内容**：私たちは、新聞を読むことが困難な方々のために、代読サービスを行っているグループです。目に障害を持っている、高齢のため細かい字が読みにくくなったなどの理由で、思うように新聞を読めない方、お手伝いいたしますので是非ご連絡ください。なお、新聞以外でも朗読に関することでしたら何でもご相談ください。お待ちしております。

●**受付日時**：毎週 水・金曜日 10：00～11：30

●**連絡先**：北広島リーディングサービス TEL 011-372-9911

常時**ボランティアに関心ある方 一緒に活動しませんか？**

●**内容**：私たち「まるぼ」は、札幌市教育委員会主催の「社会教育青年ボランティア講座」のOB・OGを中心として設立したサークルです。児童会館を訪問して子供と遊んだり、清掃登山に行ったりと多岐にわたったボランティア活動をしています。メンバーは年齢層20～30代の様々なボランティア経歴を持った人たちで、月1回の定例会および機関紙はいろいろな情報交換や交流の場になっています。「どんな事がボランティアなんだろう？」「少し人の役に立ってみたい」など、ボランティアに少しでも興味のある方、一緒に活動してみませんか？20才以上であれば経験は問いません。

●**活動日時**：定例会 一月1回（奇数月は第2土曜日、偶数月は第2木曜日）18:00～

活動や行事 最低月1回（基本的に土・日曜日）時間は内容によって異なります

●**場所**：定例会 札幌市社会福祉総合センター 3F ボランティア活動室（大通西19丁目）など
活動や行事 元町南児童会館および札幌市全域

●**連絡先**：TEL 011-664-0982 まるぼ窓口担当 鈴木（20:00～22:00）

常時**物置 募集**

●**内容**：女性のためのネットワーク事務所「女のスペースおん」は、活動の一つとして、夫の暴力などから逃げてきた女性や子供をかくまう「駆け込みシェルター」を運営しています。いま、シェルターを出た方が自立していくための物資を保管する、物置を貸してくださる方を探しています。広ければ広いほど良いのですが最低10畳分くらいは欲しいです。家賃は、タダとは言いませんができるだけ安くしていただけると助かります。場所は札幌市内で、あまり郊外ではない所を希望します。注文をたくさんつけてしまい申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いします。

●**問い合わせ先**：女のスペースおん TEL/FAX 011-622-6404

★7月の集い

7月のボラナビの集いに、NGO「レッドリボンさっぽろ」のメンバー、20代の女性3人をゲストとしてお迎えしました。このグループは、エイズ患者をサポートすること、エイズへの差別や偏見をなくすことを目的に、夜間の電話相談、行政への政策提言、会報誌作成などの活動を93年から続けています。その一環として、毎年、『エイズメモリアルキャンペーン』という、エイズで亡くなった方を追悼し、エイズについて語り合う催しも大通公園で開いています。活動メンバーは社会人や学生など20人くらい。みな仕事や学業の合間に活動しているそうです。

集いの参加者から「3人がこのグループでボランティア活動することになったきっかけは？」と聞かれると、「好きな歌手がエイズで亡くなったこと」「友人が売春していると知ったこと」「自分自身がエイズにかかっているのではないかと感じたこと」と答えてくださいました。ゲストと集いの参加者が、普段なかなか言えないことと、聞けないことを率直に話し合える貴重な時間になりました。

レッドリボンさっぽろでは、病気での差別、セクシュアリティでの差別、性差別、外国人への差別なども視野に入れた活動を行っています。エイズ電話相談は、毎週火曜日19時から22時、TEL 011-812-1222です。

●**内容**：札幌市ボランティア研修センターでは、次の3つの研修会に参加する方を募集しています。

●**研修会名**：市民福祉講座

●**対象**：福祉に関心のある方

●**日時**：10月13日（金）・18日（水）・23日（月）・24日（火）・26日（木）計5日間。時間はいずれの日も10：00～12：00。

●**内容**：福祉をめぐる現在の動向と現行のサービス、福祉の基本について学ぶ

●**定員**：80名 ●**受講料**：1,000円

●**申し込み**：9月29日（金）8：45から電話またはFAXにて先着順

●**研修会名**：いきいきシニアライフスクール

●**対象**：おおむね60才以上の方

●**日時**：11月1日（水）・6日（月）・8日（水）・10日（金）・13日（月）・15日（水）計6日間。時間はいずれの日も10：00～12：00

●**内容**：これからのシニアライフを地域の中で自立し、心身的・経済的に充実して過ごすために必要な情報や知識を学ぶ

●**定員**：50名 ●**受講料**：1,200円

●**申し込み**：10月18日（水）8：45から電話またはFAXにて先着順

●**研修会名**：介護支援ボランティア研修会（初級コース）

●**対象**：在宅で介護に携わっている方、または介護支援ボランティアに関心があり、ボランティアとして活動を希望する日中の参加が困難な方

●**日時**：10月11日（水）・12日（木）・17日（火）・18日（水）・19日（木）計5日間。時間はいずれの日も18：30～20：30

●**内容**：在宅介護や介護支援ボランティア活動に必要とされる基本的な知識・技術を習得する

●**定員**：40名 ●**受講料**：1,000円

●**申し込み**：9月27日（水）8：45から電話またはFAXにて先着順

※ なお、この研修を修了された方を対象に「上級コース」（10月23日（月）・24日（火）・25日（水）・30日（月）・31日（火）開催。時間は初級コースと同じ）を開催いたします。10月11日（水）8：45から申込を受付します。

●**申し込み・問い合わせ先**：札幌市ボランティア研修センター（中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2F 地下鉄西11丁目 徒歩5分）TEL 011-223-6005 FAX 011-261-8881

●**申し込み時の注意**：FAXにてお申し込みの方は、必ず受講希望講座名、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話・FAX番号をご記入ください。

●**会場**：札幌市ボランティア研修センター（ただし、介護支援ボランティア研修会のみ 札幌社会福祉専門学校 中央区南11条西8丁目 市電中島公園通下車徒歩3分 になります）

常時

ホストファミリー 募集

●**内容**：AFS 日本協会札幌支部では、来年度の年間ホストファミリーをしてくださるボランティアの家庭を募集しています。世界各国から派遣されてくる高校生が1年間で日本語、日本文化を学び、成長していくのを一緒に見守っていきませんか？そして彼らから学びませんか？詳細は下記までお問い合わせください。

●**資料請求・問い合わせ先**：AFS 日本協会札幌支部 TEL 011-665-8177（正木）、

E-mail：yuuko-m@mvh.biglobe.ne.jp

●**備考**：＜AFS とは＞AFS (American Field Services) は、第一次世界大戦中、15人のアメリカ人青年によって傷病兵を戦場から病院へ運搬するボランティアグループとして発足しました。その後、世界平和を願い、フランスとアメリカの間で青年の交流が行われるようになり、1947年、本格的に異文化体験を目的とした留学制度としてスタートしました。現在は、国際本部をニューヨークに置き、北南米・欧州・アジアなど世界各国、55の加盟国間で主に高校生の交換留学を行っている、非営利の文部省公認の民間国際協力交流機関です。

10/8~

開発教育セミナー「総合的学習」に向けての国際理解の教材研修参加者 募集

●**内容**：「総合的学習」の導入に向けて、テーマのひとつとして地球規模の諸課題をどのように教材として取り入れていけるのかを、立教大学の田中治彦教授を講師に招き、ワークショップ形式により1泊2日で研修します。

●**日時**：10月8日（日）～9日（月・祝）

●**会場**：札幌留学生センター（豊平区豊平6条6丁目 TEL 011-825-3120）

●**定員**：50名（先着順）

●**参加料**：10,000円（宿泊費含む）

●**申し込み・問い合わせ先**：国際プラザ市民交流課 TEL 011-211-2105

新たな世紀に向けて情報サービスを通じ

北海道企業の2000年に協力していきます。

ソフトウェア開発・受託計算・受託穿孔・機器販売・機器保守・運用管理



北海道ビジネスオートメーション株式会社

Hokkaido Business Automation co.,LTD（略称；HBA）

本社／〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目緑苑ビル TEL (011) 231-8301
HBAシステムビル・東京・旭川・北見・帯広・釧路・室蘭 <http://www.hba.co.jp/>

常時

デイサービスセンター ボランティア 募集

- 内容**：新しく開設するデイサービスセンター「ゆかい」では、一緒に活動をしてくださるボランティアさんを募集しております。活動内容は、①デイサービスの運営手伝い（話し相手、掃除、外出付き添い等）、②行事運営（親睦会、講演会等計画、準備、後片付け等）などです。いろいろな事にチャレンジしていきたいと思っていますので、一丸となって頑張ってください。是非ご連絡ください。なお、全員ボランティアサークル「ぼらびねっと」に所属していただきますので、ご了承ください。
- 日時**：上記活動内容のうち①は平日、②は土・日曜日（希望日時になるべく合わせます）
- 場所**：厚別区厚別南2丁目17-14
- 備考**：ボランティア保険に加入していただきます。
- 申し込み・問い合わせ先**：ボランティアサークル「ぼらびねっと」 TEL 011-801-4977（坂口）

常時

リサイクルショップ「アラジン」へどうぞ

- 内容**：難病患者も作業所のメンバーとして認めて欲しいという願いを込めて、北海道難病連が立ち上げたリサイクルショップです。衣類、小物、雑貨、家具などの販売の他、道産小麦粉ハルユタカを使った美味しいパンもあります。スタートから2ヶ月、さらに皆さんの応援をよろしく願いいたします。
- 場所**：リサイクルショップ「アラジン」（中央区南4条西10丁目）TEL 011-530-5171

★8月の集い

障害者と高齢者のためのパソコン教室を開催するボランティアグループ『札幌チャレンジ』は、今年の4月から活動しています。8月のボラナビの集いには、セミナーの企画やボランティアの調整、会報誌作りなどを行っている運営スタッフ4人が来て、お話ししてくれました。

「チャレンジ（障害者）」という英語は、神から挑戦すべきことを与えられた人々という意味です。札幌チャレンジには80人以上の障害者メンバーが登録し、毎月4、5回開かれるワード、インターネットなどのパソコン教室の中から興味にあうものに参加しています。大学や企業に会場と講師をお願いし、社会人や学生のボランティアが受講者の隣に座ってできないところを手伝ったり、移動などの介助を行ったりしているそうです。

メンバーの障害者がパソコンの仕事に挑戦し始めたことや、地域の障害者の方たちがどのくらいパソコンを使っているかの調査を始めたことなどをうかがいました。課題は、資金繰りや、登録していても一度もセミナーに参加していない人もいるので、そういう人のニーズに合ったセミナーを開催すること、とのことでした。集いには、実際に札幌チャレンジのセミナーに参加している障害者メンバーやパソコンに関する他のボランティアをしている人もいらしていました。



10/1

豊平川ウォーク・世界を歩こう！

●**内容**：国際交流員の案内で、豊平川にかかる姉妹都市の名前がついた2つの橋を訪ねながら、一緒にクイズやゲームを楽しみませんか？コースは豊平川幌平橋からミュンヘン大橋まで往復4km。定員は200名（先着順）で参加は無料です。参加ご希望される方は国際プラザ市民交流課へ電話でお申し込みください。なお、お弁当の用意はありません。

●**日時**：10月1日（日）10：00～13：00（雨天中止）

●**集合**：9：45 幌平橋北側ポートランド広場

●**お申し込み・問い合わせ**：国際プラザ市民交流課 TEL 011-211-2105

*当日の実施に関する問い合わせは、9:00～プラザi（アイ）へ TEL 011-211-3678



10/1

石狩浜こども自然教室

●**内容**：ゲームや観察を交えながら、秋の石狩浜で遊びながら自然のしくみを学びませんか？参加は子ども（4才以上）から大人までどなたでもOK。定員は40名（申し込み順）となっています。

●**日時**：10月1日（日）10：00～12：00

●**場所**：石狩浜海浜植物保護センター

（石狩市弁天町 48-1 中央バス石狩行き「番屋の湯」下車）

●**参加費**：子ども100円、大人200円（保険代など）

●**問い合わせ・申し込み先**：石狩浜海浜植物保護センター

TEL 0133-60-6107 FAX 0133-60-6146

10/14**北区福祉のつどい**

●**内容**：介護保険のスタートと共に、在宅介護は新たな局面を迎え社会福祉も変化しようとしています。このような動きの中で、自分達が住んでいる地域の様々な社会資源を知ることは大切なことです。今回、下記の日程で開催する北区福祉のつどいでは、「在宅の介護で必要なこと」をテーマとした講演会をはじめ、家族介護教室、疑似体験、介護用品の展示などを行います。在宅介護支援センターと共に介護保険を学び、具体的な介護方法を知り、在宅生活に必要な介護用品を手にとって試してみませんか。参加費は無料です。

●**日時**：10月14日（土）10：00～15：00

●**場所**：札幌サンプラザ（北区北24条西5丁目 地下鉄南北線北24条駅下車）

●**問い合わせ先**：北区社会福祉協議会 TEL 011-757-2482

（＊家族介護教室のみ事前に申し込みが必要になります）

10/15**南区福祉フォーラム**

●**内容**：南区在宅介護支援センター連絡協議会では以下の日程で、介護保険についての基調講演、老人クラブ連合会、学齢障害児アフタースクール、福祉のまち推進センターからの実践発表、在宅介護支援センターの紹介、介護機器の展示・相談コーナーなどの福祉フォーラムを行います。よさこいソーランのアトラクションも予定しています。参加費は無料。多くの方のご参加をお待ちしています。

●**日時**：10月15日（日）13：30～16：30

（機器の展示と相談コーナーは14・15日10：00～17：00 14日は午後のみ）

●**場所**：南区民センター（南区真駒内幸町2丁目）

●**問い合わせ先**：ドリームハウス在宅介護支援センター TEL 011-573-1234（担当：中畑）

10/19**現代座公演****～未来からのうたごえ「虹の立つ海」～**

●**内容**：現代座では、干潟の環境問題に関わる芝居「虹の立つ海」の公演を行います。また、公演をお手伝いいただけるボランティアスタッフも募集していますので、興味のある方はご連絡ください。

＜あらすじ＞埋め立てられていく浜辺でひとり抵抗を続ける老人。ある日、浜で拾った一本の笛は現代に絶望した老人を未来の少女との出会いへと誘う。少女は環境汚染に苦しむ同世代人のための薬草、春風草を探し求めている……。

●**日時**：10月19日（木）開場18:30 開演19:00

●**場所**：江別市・大麻市民ホールえぼあホール（大麻駅南口より徒歩3分）

●**前売券**：一般2800円 大学・高校生1500円 小・中学生1000円

親子3500円（当日は各プラス500円）

＊チケットは、えぼあホール、江別市民会館、野幌公民館、コミュニティセンター、江別演劇鑑賞会、江別こども劇場、ドラマシアターども内で取り扱っています

●**問い合わせ先**：「現代座」江別実行委員会 TEL/FAX 011-384-4011

10/6~

学園祭にきてください

●**内容**：北海学園大学十月祭を行います。楽しいイベントがたくさんありますので、お気軽にお越しください。

<予定イベント>

・ネオラッキーマン（8日 15:30～）・・・運と多少の実力がものをいう企画。参加資格に制限はなく、一番運の強い人も弱い人も商品が当たります。

・3on3（9日 9:00～）・・・年々盛り上がりを見せている十月祭恒例企画です。

・H・M・F（7日 17:00～）・・・学園一のミュージシャンを決める北海学園大学ミュージックフェスティバル。音楽に酔える夢のステージ。

この他、多数のイベントがあります。

●**日時**：10月6日（金）～9日（月・祝日）

●**場所**：北海学園大学（豊平区旭町4丁目1-40）

●**問い合わせ先**：北海学園大学 I 部 十月祭実行委員会 TEL 011-841-1161（内線 560）

10/20・25
11/2

大人が楽しむおはなし会

●**内容**：はるかな昔から、おはなしは人から人へと語り継がれてきました。時を越えて語り継がれてきたおはなしには、不思議な力があります。私たち「おはなしかご」は、おはなしの勉強をしながら、図書館・学校・児童館などで実際に語っています。日頃忙しい大人の方々にも、そんなおはなしを楽しんでいただきたいと思います。今年も「大人が楽しむおはなし会」を企画しました。大人のおはなし会ならではのプログラムを用意しております。参加費は無料です。お誘いあわせの上、是非お越しください。

<プログラム>：『黒焼き医者』・『ひとつぶのサッチポロ』ほか

●**日時・場所**：10月20日（金）10:30～12:00

新琴似図書館 2F 大集会室（北区新琴似7条4丁目）

10月25日（水）10:30～12:00 北海道立文学館講堂（中央区中島公園1-4）

11月2日（木）10:30～12:00 山の手図書館 2F 多目的室（西区山の手4条2丁目）

●**問い合わせ先**：TEL 011-665-2063（松信）TEL 011-614-2278（太田）

●**その他**：託児（定員6名）を希望される方は、各開催日の5日前までにお申し込みください。（託児受付 TEL 011-778-4506 杉山）



10/28・29

国際協力カフェスタ2000

●**内容**：今年で3年目を迎える「国際協力カフェスタ」は、道民のNGOや国際協力に対する理解を深め、住民主体の国際協力活動が繰り広げられる環境づくりに資することを目的として、道内NGO団体、北海道、札幌市、JICA、北方圏センター、札幌国際プラザなどからなる実行委員会によって企画されました。会場となる札幌ファクトリーアトリウム広場ステージでは、「世界の音でつながろう！」という趣旨で、喉歌と馬頭琴の演奏家 嵯峨治彦氏による演奏や、アフリカ太鼓、フィリピンダンスなど各国の歌やダンスのパフォーマンスがあり、催物場などでは、パネルやブースによるNGO活動紹介、生活文化紹介展示コーナーやチャリティーバザーコーナー、エスニック屋台など盛りだくさんのコーナーが予定されています。市民の国際協力や団体の活動を理解していただいたり、世界各国との触れ合いを体験するには最適の機会です。是非、多くの方のご参加をお待ちしています。

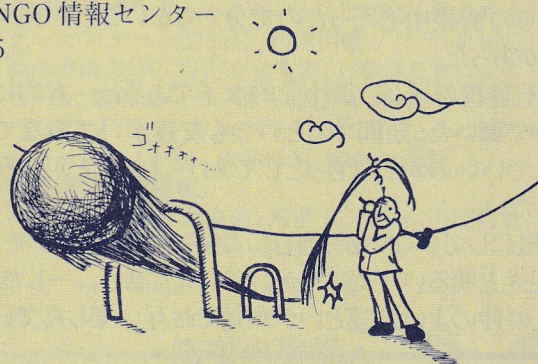
●**日時**：10月28日(土)・29日(日) 10:00～20:00

●**場所**：札幌ファクトリー2条館アトリウム・催物場(中央区北2条東4丁目)
ファクトリーホール(中央区北1条東3丁目 ホテルクラビーサッポロ隣)

●**問い合わせ先**：国際協力カフェスタ2000広報担当 NGO 情報センター

TEL 011-787-7650 FAX 011-787-7655

E-Mail: chief@ngo.or.jp (藤原)



10/6

21世紀の環境を考える

～その時、都市代謝システムの姿はどうあるべきか？

●**内容**：20世紀は、大量生産・大量消費のシステムに支えられ、工業国では大きな発展を見せると共に大きなきしみを見せ始めた時代でした。そして、21世紀が、環境や資源が有限であり、地球規模で制約を受けなければならない時代にあることは明らかです。このシンポジウムでは、21世紀中葉における都市環境保全と都市代謝システムのあるべき姿を含めて、次の世紀の環境問題には、どのような課題や制約があり、どのような方向に誘導して行く必要があるかについて、講演と討論を行います。

●**日時**：10月6日(金) 13:30～17:00

●**場所**：ASTY45 4階 アスティー45ホール(中央区北4条西5丁目)

●**主催**：北海道大学大学院工学研究科都市代謝システム工学(荏原)講座

●**後援**：廃棄物学会

●**参加費**：一般は2,000円(資料代込)、学生は無料(大学は問わず。資料は有料1,000円)

●**参加申込**：氏名、所属、連絡先を記載の上、下記連絡先にファックス、郵送、またはE-mailで申込みしてください。

●**連絡先**：〒060-8628 北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科都市代謝システム工学(荏原)講座

TEL 011-706-7298 FAX 011-706-7297 E-mail: sekito@eng.hokudai.ac.jp



「不登校」を考えよう ⑥

～地域の私たちができること～

不登校児の家庭に大学生を話し相手として派遣したり、はがきを書いたりする活動をしているボランティアグループ「海の会」(TEL/FAX 0134-32-7347)。ここで、ボランティアをしている方たちの言葉です(はがきを書くボランティアには大人も参加しています)。

「はがきボランティアをして10ヶ月ですが、返事も増えたり、内容もどんどん自分を表現するものと変化してきた。いろいろなことに対するセンスや可能性を持っていると思う。いつの日か、はがきの相手の子と会うことができたらいいなと思っています」

「学校に通っている子と違うなと思った。家族に強気な発言をしても他人には心を開いていないと感じた。人との関わりが少ないので、絶え間なく話しつづけ、相手の話を聞くことがないように思った。テレビ、オマケからの情報中心だったので分からないことが多い。興味のないことには反応しない。会話が成立しないことがあった」

「不登校の子は、非社会的な子であると一方的に決め付けていた。しかしとても明るく、むしろ私より社交的で驚いた。訪問するといつも友達がいてみなでわいわい楽しくしている。ただ、遊んでばかりなので『これでいいのか?』『もっとしてあげられることがあるのでは?』と考える。機会があれば一緒に外に出かけてみたい」

「気にしていないが、当日にこちらから電話をして、その日はキャンセルなのだということが分かることがある。もともと明るい子だったが、さらによく話し、「～したい」というようになった。ボランティアということを忘れ、年下の仲のよい友達という感覚でお互い楽しんでいる」

「海の会」の代表、鈴木祐子さんの言葉です。

「凶悪事件を起こした子供のことが報道され、不登校＝友人が少ない、おとなしい性格、ゲーム好き、という認識になり、そのことで『そんな生活をしているから、事件を起こしかねない』という風潮ができてしまったように心配しています。でもいまの社会では、不登校の子にいったい何をして過ごせというのでしょうか。」

一緒にパネリストを担当した館山さんの「ななかまどの会」の会合に出席しますと、7月のシンポジウムのあと、毎月のように新しい母親が来ていて、涙を流しながら体験を語っています。最近ようやく、行政や民間で、子供の居場所や、不登校のことを相談しに行ける場所ができました。誰が作るのもいいから、苦しんでいる子や親が救われたと感じられる場所が増えてほしい。子供がその子らしく生きていける子供の集団、スクラムを組める仲間作り、大人も子供に喜びを与えられ幸福感を感じる場ができることを切に願います」

その子の家族でも先生でもない、地域の方たち。真剣に気にかけてくれる第三者的な立場の人、というのは、これまであまり重要性をいわれていなかったように思います。でも、子供にとっては息が抜ける、ある意味で欠かせない人たちなのではないでしょうか。私たちは誰でも、その地域の人になることができるのです。不登校の子供を温かく見守っていく社会になるよう働きかけていきたいと思いました。

「不登校」を考えようシンポジウムは7月2日、不登校に関わりのある7人のパネリストと、不登校に関する活動をしている10団体の協力で実施されました。ご協力をありがとうございました。

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道女子大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJ O Y、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスターム東苗穂、月寒中央)、マックスバリュ厚別

●書店●

本の岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエジ 市内全店、T S U T A Y A (北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y 遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公楽、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J T インフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

10月のボラナビの集い

10/12 18:30~20:30
(木) 初心者歓迎!

ゲストスピーカーは、4ページに掲載されている内城百合さんです。お楽しみに!

ボラナビ倶楽部宛てに、郵送・Eメール・FAXのいずれかで名前・所属・電話番号をご連絡ください。

場所：環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階 TEL011-707-9025

会費：500円。お茶とお菓子つき。

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

本州から北海道に来て以来、どこへ行くのにもほとんど一緒だった愛車を買替えることにした。買替えを検討している最中、何故か我が愛車が「ブォーン・ブォーン」と悲しい音を立てていた。ところが購入契約を結んだ途端、その音が止まった。あの音は何だったのか。彼(車)の「買替えないで」という叫びだったのか……。ごめんね、我が愛車レガシーくん。ボラナビ10月号が皆さんの手元に届く頃、私はあなたに別れを告げます。
(謎の編集人 出川育子)



読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数をお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6カ月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12号は品切れしてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

ボラナビでは広告掲載を始めました。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます!掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛してくださった方々 (順不同)

- ・有限会社 寿郎社 様
- ・マイクロソフト株式会社 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・株式会社ワークボックス 様
- ・北海道紙商事株式会社 様
- ・中道リース株式会社 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・城宝 和茂 様
- ・北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・株式会社土屋ホーム 様
- ・進藤 芳彦 様
- ・札幌通運労働組合 様
- ・北区まちづくり活動コンテスト 様
- ・高垣 正計 様
- ・真屋 幹雄 様
- ・札幌光星学園 様
- ・北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・札幌ポプラライオンズクラブ 様
- ・北海道振興株式会社 様
- ・ほくでんぼろねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)
- ・北海道共同募金会 様
- ・日本財団 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・幡本印刷株式会社 様

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 123-0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 152-0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ



ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:2000年9月25日

■定価:無料

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社